



シリーズ 受け継ぎ伝える松本のたから 16

(撮影 2014.10.12)

## = 「心と体」の健康づくり = 高らかに選手宣誓!!

### 57回目の

### 市民スポーツの祭典

10月12日(日)、第57回市民体育大会の開会式が、総合体育館のメインアリーナで開催されました。

35地区から選出された選手や役員等が一堂に集まり、開会セレモニーが執り行われて、最後に前年度優勝地区の代表が選手宣誓。

今年も芳川地区からソフトバレーボールに出場する、伊藤雄介・珠緒夫妻が、市長の前で力強く宣誓しました。

開会式終了後、選手・役員等が競技会場へ移動し、秋晴れのスポーツ日和の一日を、楽しく過ごしました。

# 地区住民の手による 開館15周年記念企画

城東地区と城北地区では地区公民館・福祉ひろばの開館15周年記念行事が行われました。両地区とも住民主体で横のつながりを重視し、地区住民が力を合わせて取り組みました。

## 町会間の垣根を外して 城東地区親睦体育祭

9月28日、旭町小学校の校庭で、城東公民館開館15周年記念行事として「城東地区親睦体育祭」が開催され、晴天のもと12町会350名が参加し、心地よい汗を流しました。

同地区では、数年前から「体育祭を開催したい」という声がありました。各町会の世帯数の差もあって、なかなか足並みがそろいませんでした。今年6月、体協・体育部長を中心に、発起人会を



大盛況だったパン食い競争

立ち上げると、その後公民館運営委員会等で審議を重ね、発起人会の戸部哲一氏を実行委員長、連合町会長の浅田晃氏を大会長とする体育祭実行委員会が組織されました。

資金面については、地区内の事業所から、プログラム広告の協力を得て賄いました。この体育祭は、町会間の垣根を外すことを主眼とし、町会対抗とせず、得点もなし、当日参加した住民が、その場で手を挙げて各競技に参加しました。司会を小学6年生が担当するなど、大人から子どもまで地区住民が一つになった体育祭でした。

## ラジオ体操で健康づくり 城北地区みんなを健康プログラク

城北地区では11月1日、開智小学校体育館を会場に、長野信一先生（日本体操研究所長）によるラジオ体操の実技指導と講演が行われ、幼児から高齢者まで100人ほどが

集まりました。

先生はラジオ体操の一つ一つの動作を丁寧に解説しながら、「人間の身体には約6000の筋肉があり、正しいやり方でラジオ体操を行うと400の筋肉を動かすことができ、毎日継続して行うことが健康につながる」と話し、参加した住民も熱心に体を動かしていました。

この講演会は、城北公民館・福祉ひろばの開館15周年企画「みんなを健康」プログラク（10月25日・11月2日）の一環として開催されたものです。プログラムの期間中は、他にもウォー

キングや松本山雅FCの応援、歯科衛生士・薬剤師による講習会、食に関する講座などさまざまな催しが行われました。

同地区では、今年4月の地域づくりセンター開設を機に「地域活動充実に向けた検討会」を立ち上げ、住民アンケートを実施しました。その結果、「健康に対する不安・関心」が一番高かったことから、今回の企画が持ち上がったとのこと。

町会連合会を中心に各種団体・医療関係者・公民館・福祉ひろば・行政等が一体となった今回の取り組みについて、



ラジオ体操の動作を確認

# フリーマーケット

## 今年も紅葉の奈川へ



濃厚なチーズとヨーグルトを買って…

- A** 今年も奈川のようにそばを食べたいね。
- B** 松茸が入っているから、一層おいしくなるからね。
- C** 今年はそばが出てくる前に、松茸を拾って食べないでよ！恥ずかしいからね。
- A** しません！今年はしませんよ。
- B** 奈川に来たら、チーズを買いたいなあ。
- D** 焼いて食べるチーズは濃厚で美味しいんだって。チーズを焼いて食べるなんて珍しい

- A** 食べ方だよ。
- B** ※松茸入りとうじそばと雑炊を堪能し、チーズとヨーグルトを購入して帰宅途中で
- C** ダムの底に沈んだ集落の碑があるから、学習を兼ねて見ていこう。
- D** 道端の石碑が物語っているね。何か寂しいなあ。
- C** 桂が黄葉すると甘い香りが漂うんだよ。車の窓をあけてごらんよ。
- B** あ、本当だ。甘い香りがいっぱいだね。
- A** 知らなかった、お腹も頭も一杯です。

# 第2回田んぼフェスタ開催

松本市などの若手農家の担い手でつくる松本新興塾の主催で「農業者と消費者をつなぐ」をテーマに田んぼフェスタが開催され、多くの家族連れなどでにぎわいました。

今年で2回目を迎える「田んぼフェスタ」が、体育の日の10月13日(月・祝)、和田で開催されました。

この日は台風の接近による雨天のため、主会場を田んぼからJA松本ハイランド松本スイカ共選所に移し、屋内での開催となりました。

あいにくの天気にもかかわらず、午前10時の開場から多くの家族連れが訪れ、さまざまな体験イベントを楽しんでいました。

昔ながらの千把こきを使っ



千把こきで脱穀体験

## 写真でつづる まつもとの今昔⑱

～ 蔵のある通り・東源地 ～



昔

(1997.11.14 写真提供: 日本報道写真連盟)

松本有数の土蔵造りの蔵が5棟並んでいる姿は圧巻。かつては松南高校生の通学路としても賑わっていました。



今

(2014.11.4 撮影)

5棟あった蔵の半数以上が取り壊されて駐車場となり、奥の2棟だけが残っています。屋根や壁の状態からみると、この先どうなるのでしょうか。



初めての農機具に大喜び

た「だっこくたいけん」や「もみすりたいけん」、かつては農閑期の仕事だった稲藁をなう「わらざいくあそび」、農機具の用途を当てる「のうぐあてげーむ」、耕耘機などに乗る「のりものたいけん」など、藁や農具にはじめて触れたという家族連れもあり、子どもたちの歓声が上がっていました。

会場では松本新興塾の塾生が来場者と触れあい、信州大学のゼミのグループも、とん

汁コーナーやホットサンドコーナーを担当し、会場は和気あいあいの雰囲気にも包まれていました。

このフェスタは、主催者の松本新興塾のほか、松本市をはじめとする近隣市村、各農協、まつもと農村女性協議会などが運営に当たっています。

主催者の代表である松本新興塾の佐藤進塾長によると、「TTP問題や後継者不足など山積する日本の農業問題に向かいあう若い営農者にとって、農業と食のつながりを地域住民、特に非農家の人たちと共有し、相互理解を深めるのは極めて重要なこと。それを発信する場として実験的に企画した」とのことです。また、「塾生18人のなかには2人の女性も含まれ、農業に対する問題意識が男性と異なる点も多く、女性ならではの視点が将来の日本の農業に活かせるのでは」と熱く語っていました。

## おこひる

この秋は大型台風が相次いで列島に襲来したが、ありがたいことに当地松本は大した被害もなく済んだ▼松本の「台風被害」

で思い出されるのは女鳥羽川の氾濫で清水橋から松本駅にかけて街の中心部が水浸しになった昭和34年8月14日の台風7号である▼駿河湾から上陸、富士川沿いに北上し、葦崎、松本、長野を通過して日本海へ抜けた。2日前からの豪雨により女鳥羽川上流からの流水が念来寺橋、鍛冶橋の橋脚に絡まり、結果女鳥羽川の濁流は氾濫し、4千戸の家屋に被害が出た。これを教訓に市街地の橋には橋脚のないものがある▼さて驚いた事に小生はこの時の台風を「伊勢湾台風」と誤って記憶していた。何故か▼同じ年の9月25日、潮岬に上陸した台風15号は紀伊半島を真っ二つに縦断し伊勢湾から富山湾へ抜けた。この間30時間、気象衛星等まだ無い時代、予想を超えるスピードと勢力で中部地方に襲いかかり、5千人を超える犠牲者と150万人の被災者を出した。これが「伊勢湾台風」と名づけられた昭和の超弩級の台風だったのである。

地域探訪

歩まろう松本!

20

島立地区ウォーキングコース

島立地区は、長野道の開通により都市化の進んだ北コース、田園・史跡をめぐる南コース、古き街道を持つ西コースと特徴が異なります。今回は西コースを紹介します。

公民館を出発し、仁科街道に出ます。この街道は糸魚川から大町を経て塩尻までの旧道です。西に進むと永田公民館の脇に法性院があり、不動明王像が安置されています。鎌倉時代の荘厳な美を今に伝えている仏像です。また子どもたちにより伝統が守られている化粧道祖神があります。さらに進むと、南北に走る千国街道に出ます。古くは糸魚川に抜けたこの街道の「町

区」には、本棟造りの家々や土塀が保存されており、豊かな村の生活を垣間見ることが出来ます。またアルプスからの豊富な井戸水は多くの造り酒屋を育み、杜氏はこの街道を使っての小谷の冬の出稼ぎでした。村人も早くから水道水を使っていました。高遠の流れを汲む作者名の入った化粧道祖神の前をさらに北へ進むと、飛騨街道(野麦街道)に出ます。富山から



「町区」の旧街道風景

高山経由で松本までのこの街道の脇に栄安寺があります。お顔立ちの整った室町時代の阿弥陀如来像です。

さらに、榑木川に沿って歴史の里へ出ます。歴史的建造物と、西にアルプス連峰を、東に美ヶ原から鉢伏山を望む絶景の場所です。浮世絵博物館の前を再び仁科街道に出ます。道なりに南に進み飛騨街道(野麦街道)を過ぎ、地元自慢の野菜畑・田園風景の中を公民館に戻ります。

各街道の交わる地点は鉤の手になっており、村を守るための様子が伺われます。また平安時代からの街道筋では明治以降も「市」が開かれ、千国・飛騨街道からの新巻鮭と鰯が正月の祝い膳に登場していました。豊かな自然と古き農村の物語を満喫できるコースです。

わがまち自慢 第3回

名称が変わりました！松南地区公民館

平成26年4月より、松本市芳野の複合施設なんなんひろば内にある南部公民館が、松南地区公民館に名称が変わりました。

25年度に松南地区町会連合会から市に要望書が提出されたことなどをきっかけに協議が進み、今回の名称変更の運びとなりました。市では地区名と地区公民館名を統一する動きがあり、松南地区公民館はその先駆けとなります。また、同じく4月に同公民館正面の駐車場整備が完了し、新たに108台の駐車スペースが確保されました。



施設のシンボル カリヨン

地産地消のかんたんレシピ

たかが芋、されど芋 『じゃがいものマヨネーズ焼き』 マヨネーズの芳ばしい香り!!

材料：じゃがいも、マヨネーズ、とろけるチーズ

- 1. じゃがいもは一口大に切って茹でる
2. グラタン皿に1を盛り、マヨネーズを全面にかけ、とろけるチーズをのせて、オーブンで焼く

